

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日門充会誌	HCC	岡崎 正敏	放射線科
肝胆膵	肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法(手技と工夫)	岡崎 正敏 他	放射線科
核医学技術	脳核医学検査による病態診断と定量測定	桑原 康雄	放射線科
Radiat Med	Midline cystic malformations of the brain: imaging diagnosis and classification based on embryologic analysis	宇都宮 英綱 他	放射線科
小児科診療	頭蓋骨・脊椎の異常	山下 真一	放射線科
先端医療技術研究所	肝臓病の最新治療:肝細胞癌に対する肝動脈(化学)塞栓療法TA(CE)	岡崎 正敏 他	放射線科
マンモグラフィ画像読影ハンドブック	乳がん検診における読影技術の向上をめざして:構築の乱れおよびその他の所見	藤光 律子 他	放射線科
金原出版	乳腺疾患の臨床:遠隔転移の診断(CT / 超音波検査 / MRI)	岡崎 正敏 他	放射線科
福井MR研究会誌	発生学に基づいた先天性水頭症の画像診断:頭蓋内正中嚢胞の分類について	宇都宮 英綱	放射線科
カンファランス形式頭部画像診断演習;土屋一洋編集	奇形	宇都宮 英綱	放射線科
Cancer Lett. 243: 120-127, 2006	Overexpression and diffuse expression pattern of IQGAP1 at invasion fronts are independent prognostic parameters in ovarian carcinomas.	鍋島 一樹 他	病理部
J Clin Pathol : 59(2):160-165, 2006	cDNA microarray analysis of cancer associated gene expression profiles in malignant peripheral nerve sheath tumours.	鍋島 一樹 他	病理部
Anticancer Res 26:1359-1368, 2006	Expression of emmprin and matrix metalloproteinases (MMPs) in peripheral nerve sheath tumors: Emmprin and membrane type (MT)1-MMP expressions are related with malignant potential.	鍋島 一樹 他	病理部
Eur J Cardiothorac Surg 29: 891-895, 2006	Expression of hypoxia-inducible factor-1 alpha and its prognostic significance in small-sized adenocarcinomas of the lung.	鍋島 一樹 他	病理部
Biosci Biotechnol Biochem. 70(6):1338-49, 2006	Synthesis of a glycosylated Peptide thioester by the boc strategy and its application to segment densation.	鍋島 一樹 他	病理部
西日本泌尿器科68: 483-488, 2006	前立腺生検における異型腺管(atypical glands)の免疫組織化学的検討.	鍋島 一樹 他	病理部
J Biol Chem 281: 37576-85, 2006	Membrane-type-1 matrix metalloproteinase (MT1-MMP/MMP-14) cleaves and releases a 22-KDA EMMPRIN fragment from tumor cells.	鍋島 一樹 他	病理部
Int J Oncol 29: 1421-8, 2006	Establishment of three malignant peripheral nerve sheath tumor cell lines, FU-SFT8611, 8710 and 9817: Conventional and ular cytogenetic characterization.	鍋島 一樹 他	病理部
Int J Cancer 120(4): 761-768, 2006	Emmprin in epithelioid sarcoma: Expression in tumor cell membrane and stimulation of MMP-2 production in tumor-associated fibroblasts.	鍋島 一樹 他	病理部
日本小児外科学会誌	胎児期に異常を指摘された先天性肺嚢胞性疾患の3例	浅部 浩史 他	総合周産期母子医療センター
Med Bull Fukuoka Univ	Mesenteric Desmoid Tumor of the Appendix: A case Report and Review of the Literature in Japan.	浅部 浩史 他	総合周産期母子医療センター
臨床小児医学	小児リンパ管腫の治療経験 -硬化療法を中心に-	浅部 浩史 他	総合周産期母子医療センター

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
小児科臨床	慢性膵炎に対し膵管空腸吻合術が著効した1小児例	甲斐 裕樹 他	総合周産期母子医療センター
臨床小児医学	小児緊急手術症例の検討	浅部 浩史 他	総合周産期母子医療センター
周産期医学	総合周産期母子医療センターにおける新生児消化管穿孔手術の検討	浅部 浩史 他	総合周産期母子医療センター
Med Bull Fukuoka Univ	The Fetal Growth Velocity and Placental Weight/Birth Weight Ratio in Concordant and Discordant Twins at 20-36 Weeks of Gestation.	吉里 俊幸 他	総合周産期母子医療センター
産婦の実際	切迫早産に対する子宮収縮抑制剤の投与	吉里 俊幸 他	総合周産期母子医療センター
周産期医学	パルトグラムを用いた難産対策	吉里 俊幸 他	総合周産期母子医療センター
小児科	薬物の妊娠・胎児への影響	吉里 俊幸 他	総合周産期母子医療センター
周産期医学	妊娠・周産期に関する用語	吉里 俊幸 他	総合周産期母子医療センター
Clin Exp Nephrol	The suppressive effects of dietary protein restriction on the progression of renal impairment in OLETF rats.	明比 祐子 他	臨床検査部
医学のあゆみ	輸血前後の感染症マーカー検査についての、日本輸血・細胞治療学会運用マニュアル案	丹生 恵子 他	輸血部
福大医紀	成人急性骨髄性白血病およびリンパ性白血病の治療	熊川 みどり 他	輸血部
日本小児がん学会雑誌	生後6ヶ月頃より縮小した新生児神経芽腫(Stage IV B)の一例	丹生 恵子 他	輸血部
日本病院薬剤師会雑誌	同種造血幹細胞移植前処置における経口ブズルファン血中濃度測定	熊川 みどり 他	輸血部

計348件

- (注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病 院 長 瓦 林 達 比 古
管理担当者氏名	庶務課長 米 嶋 邦 章、 医療管理課長 黒 木 辰 男 医事課長 江 崎 和 雄、 医療情報部事務室室長 戸 崎 悟 郎 薬剤部長 二 神 幸 太 郎、 放射線部技師長 稲 富 幸 治

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患 者に係る入院期間中の診療経過の要約		庶務課 各診療科 医療情報部 放射線部、手術部 薬剤部、看護部 臨床検査部・病理部	診療録はカーニル・デジタル方式で分類。 診療録は診療科毎に作成し、入院カルテは最終来院日から20年間、外来カルテは15年間保管としている。 X線写真は入院・外来を一患者一ファイルで管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	庶務課	
	高度の医療の提供の実績	医療管理課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	庶務課	
	高度の医療の研修の実績	庶務課	
	閲覧実績	庶務課 医療情報部	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療管理課 医療情報部	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
確 規 保 則 の 第 9 状 況 条 の 2 3 及 び 1 条 各 号 に 掲 げ る 体 制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	医療安全管理部にて一括管理
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室	以下項目、上記と同じ
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	医療情報部長 志村英生
閲覧担当者氏名	医療情報部事務室長 戸崎悟郎
閲覧の求めに応じる場所	医療情報部資料室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医師	延	—	件
	歯科医師	延	—	件
	国	延	—	件
	地方公共団体	延	—	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	65.6%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		12,531人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		8,583人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,692人
	D: 初診の患者の数		26,195人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
・ 所属職員：専任 (4) 名 兼任 (1) 名 ・ 活動の主な内容 《医療の安全管理》 以下7項目 《患者からの相談》 以下4項目 ① 安全管理に係る会の運営 ① 治療上の問題に関する事柄 ② 医療事故発生時の対応 ② 入院及び退院に関する事柄 ③ 医療安全に係る連絡調整 ③ 生活面及び経済的な問題に関する事柄 ④ 医療事故防止に向けた内部監査 ④ 相談内容に応じた関係部署及び関係機関との連絡調整に関する事柄 ⑤ インシデント報告・アクシデント報告の分析 ⑥ 安全管理に関する教育・研修 ⑦ 安全管理レポートの発行	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
・ 指針の主な内容： 1. 安全管理に関する基本的考え方 2. 安全管理の為の委員会及び院内組織に関する基本方針 3. 安全管理の為の職員研修に関する基本方針 4. 安全確保を目的とした改善策を講ずる為の基本方針 5. 医療事故発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	
・ 活動の主な内容： 1. 医療安全管理委員会 (月に1回) 3. リスクマネジャー会議 (月に1回) 2. 医療安全管理部小委員会 (月に2回)	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 7 回
研修の主な内容： <p style="text-align: center;"><u>別紙参照 (平成18年度 安全管理のための職員研修一覧)</u></p>	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ① 医療安全管理者が抽出したインシデントの事例を医療安全管理部小委員会で検討を行っている。 ② 検討した事例で改善を要するものはリスクマネジャー会を通じ、全医療従事者に周知徹底している。 ③ 医療安全管理部長又は安全管理者は、事故、インシデント、合併症発生時など、必要に応じ当事者、当該部署と個別に対応し、指導する。 ④ 改善結果を「安全管理レポート」としてフィードバックを行っている。 ⑤ 病院全体の問題として取り上げる必要がある事例は、医療安全管理委員会に提言し、安全管理の改善に役立てる。	

平成18年度 安全管理のための職員研修一覧

開催日	内 容	講 師	対 象	参加人員
平成18年6月7日	・実践して学ぶリスクマネジメント～ヒヤリ・ハット劇からの教訓～	押田茂實（日本大学医学部 法医学教室教授）	全職種	592
平成18年7月22日	・病院ワークショップ 「医療事故発生時の対応と課題」 1) 事故発生時の問題点 2) 医療事故に対する新たなアプローチ	1) 下條三和（医療安全管理者） 2) 池永 満（福岡大学法科大学院教授）	全職種	133
平成18年9月27日	1) MRI検査および検査室入室時の諸注意事項 2) 医療機器メーカーが考える医療安全について	1) 森本祥一（当院放射線技師） 2) 秋本加代（テルモ株式会社 安全情報管理部 安全情報管理課長）	全職種	330
平成18年11月29日	・非ステロイド系消炎鎮痛剤の適正使用に向かつて 1) 薬剤師の立場から 2) 総合医療職の努力と協力	1) 川原義弘（薬剤師） 2) 柴崎敏昭（共立薬科大学薬物治療学講座教）	全職種	409
平成18年12月27日	1) 立入検査で指摘された事項とその周知徹底 2) ノロウイルスの感染対策 3) 医療事故対策の周知徹底	1) 斉藤喬雄（医療安全管理部長） 2) 橋本文代（感染対策担当者） 3) 下條三和（医療安全管理者）	全職種	461
平成19年1月24日	・院内感染対策におけるICTと感染症専門医の役割	二木芳人（昭和大学医学部 臨床感染症講座教授）	全職種	347
平成19年2月28日	・安全な医療を提供するには－青戸病院事件を越えて－	吉田和彦（東京慈恵会医科大学附属病院 助教授）	全職種	357
—			全職種	2629